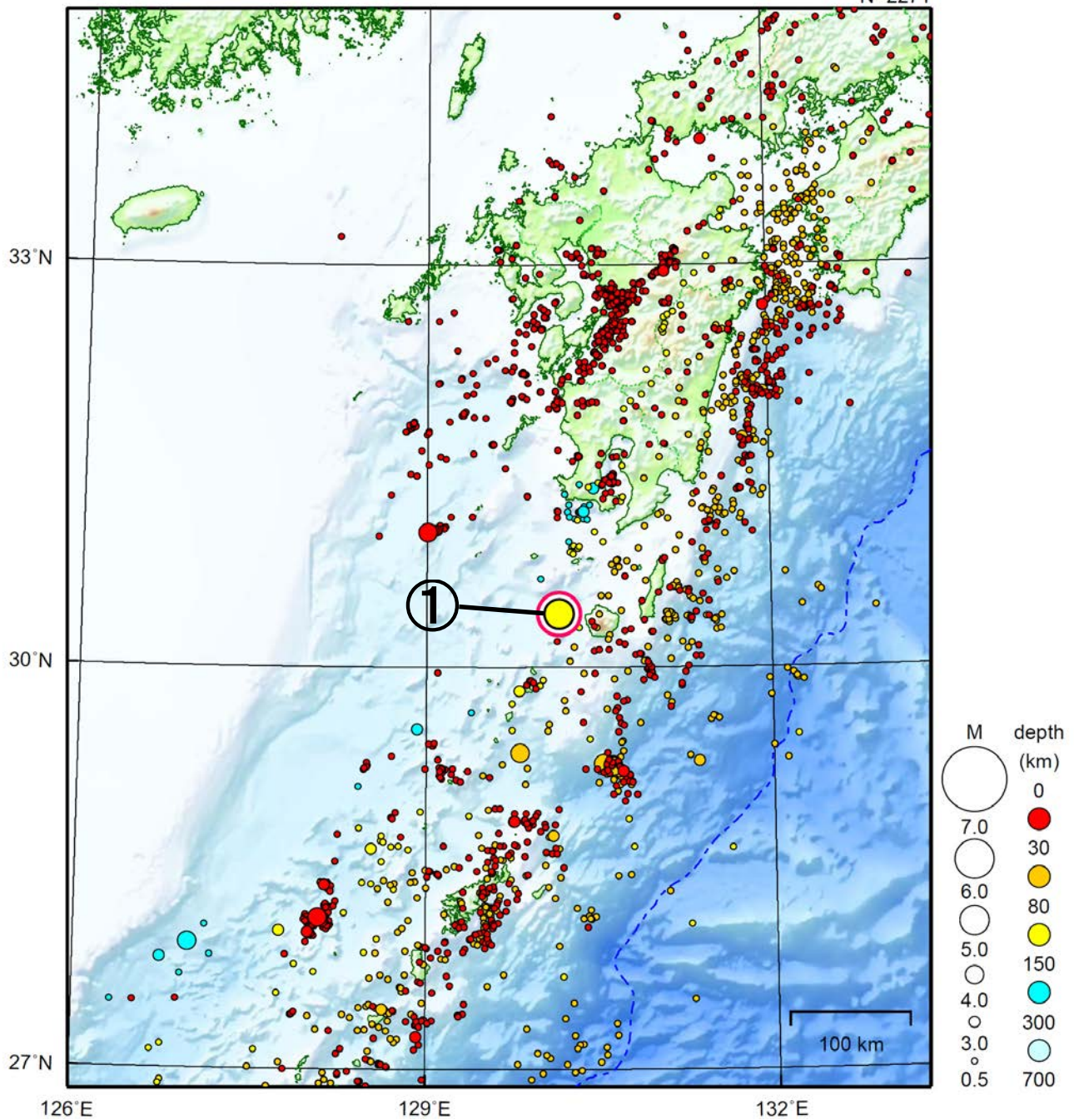


九州地方

2018/11/01 00:00 ~ 2018/11/30 24:00

N=2271

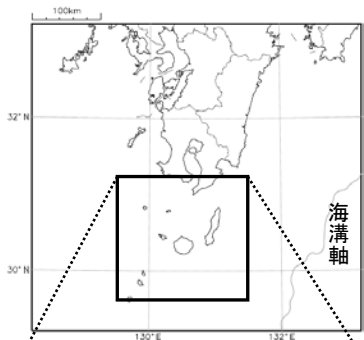


地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

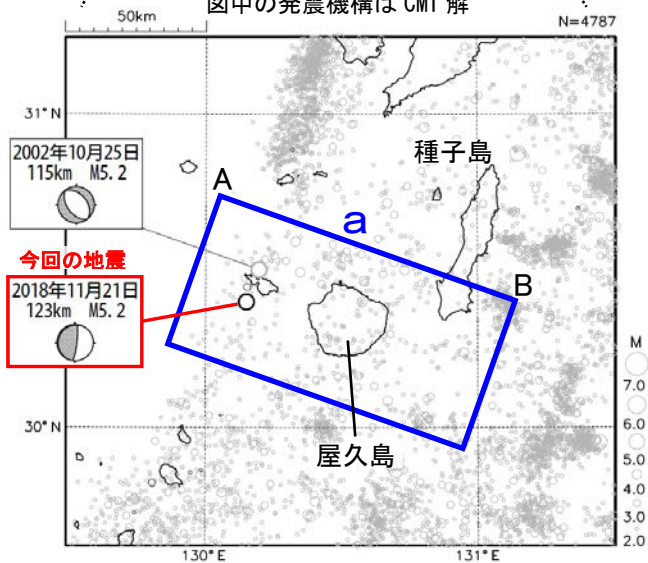
- ① 11月21日に種子島近海でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

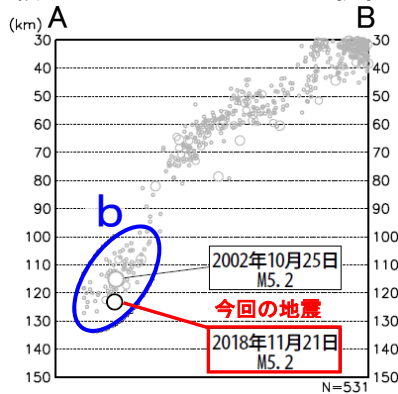
11月21日 種子島近海の地震



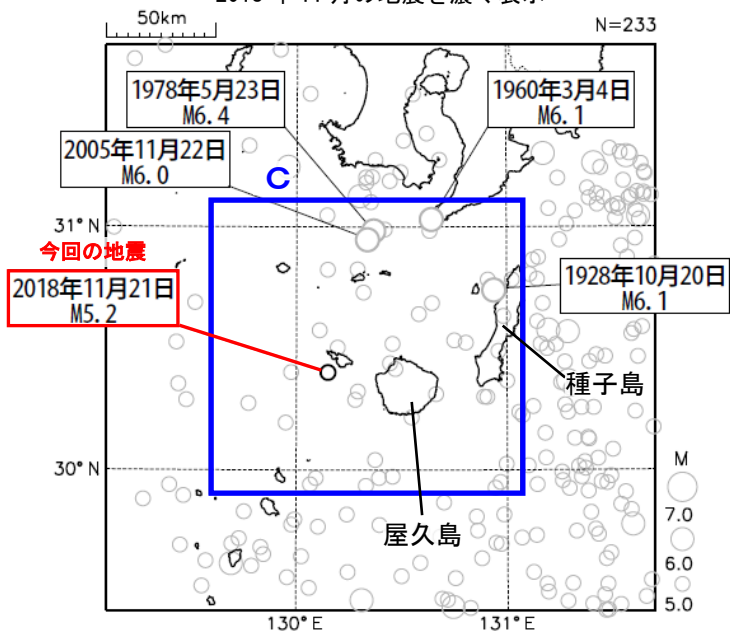
震央分布図
(1997年10月1日～2018年11月30日、
深さ30～150km、 $M \geq 2.0$)
2018年11月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



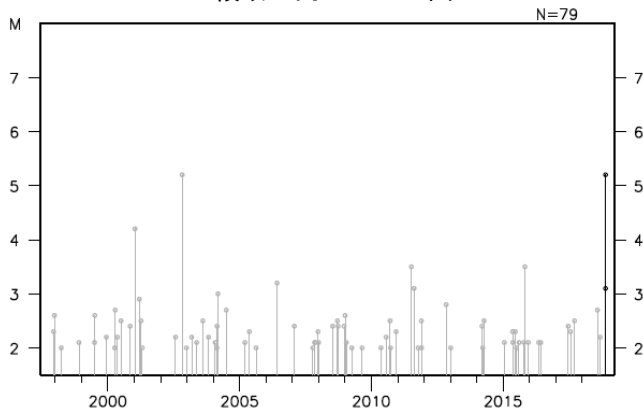
領域a内の断面図 (A-B投影)



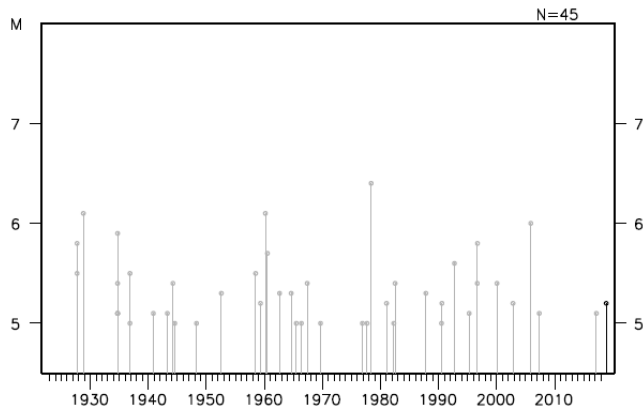
震央分布図
(1923年1月1日～2018年11月30日、
深さ0～200km、 $M \geq 5.0$)
2018年11月の地震を濃く表示



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図



2018年11月21日04時09分に種子島近海の深さ123kmでM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)がフィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M3.0以上の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震が発生したのは2002年10月25日のM5.2の地震(最大震度2)以来である。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が4回発生している。1978年5月23日にはM6.4の地震が発生し、最大震度4を観測した。